



●待降節第三主日

泉のほとり

今日の詩篇「第五〇編」

天は神の正しいことを告げ知らせる。
神は御自ら裁きを行われる。

実を結ぶ

日本ではクリスマス祝う人が多くいます。でも残念なことに、その多くが主イエスを無視して祝うクリスマスです。ツリーも飾りもプレゼントも、他のものはすべてであるのに、主イエスだけいらないのです。

どうしてそうなるのか。これは主イエスが、わたしたちを罪から救う救い主だからです。自分の罪を認めない人は、主イエスの誕生を祝えないのです。罪とは、自分のためにしか生きられないことです。いつでも自分が第一なので、神さまをも隣人をも、愛することができません。相手を自分の思い通りにしようとするからです。時には自分を愛せないこともあります。自分が自分の思い通りでないからです。

でもそういう生き方をしていたら、わたしたちを待っているのは滅びです。洗礼者ヨハネの言うとおり、斧が木の根元に置かれています。実を結ばなければ、切り倒されて燃やされてしまうのです。だからヨハネは、悔い改めにふさわしい実を結びなさい、と言ったのです。実を結ぶとは、神さまを愛し、自分を愛するように隣人を愛することです。でもどうすればそのような実を結ぶのでしょうか。クリスマスにはケーキを食べるでしょう。その上に乗っているイチゴが実るのは、春から夏にかけてです。そんなイチゴが冬に食べられるのは、温室で育てられるからです。外は冬でも、温室の中は春の暖かさです。だから実を結ぶのです。もしこれが木

枯らしの吹く中だったら、いくら「実を結べ」と言われても結べないでしょう。

洗礼者ヨハネは、「実を結べ」と言いましたが、その力を与えませんでした。だからその後を継いで、主イエスがお出でになったのです。主イエスは、わたしたちに実を結ばせて、律法を完成させる方です。

ルカ福音書の第一三章で主イエスは、実のならないイチジクの話をされました。こんな木は切り倒せと言う主人に対して、もう一年待ってくださいと園丁が答えます。十分な肥料を与えて、春と夏を経験させれば、実を結ぶと考えたのです。

この園丁は主イエスご自身です。わたしたちが実を結ぶように、主はわたしたちに父なる神さまを教えてください。神さまの子どもになる道を聞いてくださいました。さらに聖霊を送ってください。わたしたちが「アッパ父よ」と神さまを呼んで、神さまに祈ることができるようになってくださったのです。

ですからわたしたちは、いつでも主イエスに、自分の心と生活の真ん中にいていただかなければなりません。主イエスを中心にしなさい。どうやって実を結ぶことができるでしょうか。そのような生活を、クリスマス祝うことから、始めましょう。

(マタイ三・一〜一二)

祈り

わたし共の礼拝を受け入れてくださいます主イエス・キリストの父なる御神。今、御前にあることを心より感謝いたします。だが同時に、生きておられるあなたの御前に、真実に感謝しつつ立つているかということをお問われて、思ひがいたします。

どれだけ真実の謙遜と畏れとをわきまえているか。わたし共の目にあなたが見えないことをよいことにして、あなたがわたし共を見抜いておられることもないかのように御前に立つて、なお心鈍く、白らの罪に気づくことにも鈍いのではないかと恐れを抱きます。

もしわたし共の心がなお正しく悔い改めに導かれていないならば、わたし共の心を叩き潰すようにして、でも、真実の心を見ることを教えてください。白らの愛を問うことができますように。心を尽くし、力を尽くし、あなたを愛し抜いているかを、今、問うことができますように。自分を愛するように、自分と共に生きている人を愛して、その隣人となる生活であったかを問うことができますように。人を裁くことにばかり急ぎ足であり、自分の正しさを主張す

ることに夢中になり、何よりも自分の利益を求める貪りの心に生きていなかっただかを静かに正直に問うことができますように。

どれだけ祈り、しかも、その祈りがどれだけ愛に満ちたものであったかを、今、御前に省みることが出来ますように。そして今、わたし共の祈りが改められ、あなたを心から讃美する祈りとなり、そして多くの人々のための祈りとなりますように。病床にある者の願いを思います。年若い者や病の者のために、なお果てしない愛の労苦に生きている者たちを思います。そのような労苦が、教会の内外を問わず、世界の至るところで担われ、それによつて世界は生きております。そのようにして行われているあなたのみわざを心から讃美することが出来ますように。

この世界を支えているのは悪の力ではなく、滅びの方ではないことを、わたし共自身も身をもって味わう日々を作らせてください。そのために、この教会を、白らの栄光を求め、群れではなく、あなたの栄光を求め、群れとして、いつも道を正し、また力を与えてください。そのような教会に相應しい礼拝を、今、心からなる讃美をもって御前に献げることが出来ますように。

主イエス・キリストの御名によつて、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○第一礼拝で教会学校の二学期終業式を行います。精勤生徒の表彰をします。

○第一礼拝後、ロビーでのコーヒーマービスと、圖書二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○一時からホールで、教会学校の生徒によるページェント「小さき者のクリスマス」が上演されます。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○午後二時から、カナルルームで定例の役員会を行います。役員はお集まりください。冒頭で二名の方の試問会をします。

○来週二四日はクリスマス礼拝です。朝、○時からの一礼拝です。

○同じく来週二四日、午後四時半と六時半の二回、クリスマスイブ礼拝を行います。今年にはサンサーンスの「クリスマスオラトリオ」による音楽礼拝です。

○紫園香音楽伝道師は、本日、宇都宮教会で、二三日(土)は板戸キリスト教会で、コンサートの奉仕をします。お祈りください。

Wir sagen euch an den lieben Advent
詞・Maria Forsche, 1896-1902

WIR SAGEN EUCH AN DEN LIEBEN ADVENT
曲・Heinrich Rehr, 1902-

1-4 土を まちの そむ アドヴェント、
最初の
第二の ろうそくともぞう。
第三の
最後の

主が みちを そなえられ た このときを まもろう。
主が なされ た そりの ように、 たがい に たすけよう。
上の めぐみ てりか が やき、 くらや み を てらす。
主は この世 に き たり た む。 こころ こ め、 う た おう。

(くりかえし)
主の た みよ、 よろこべ。 主は ち-かい。

聖書の会

○朝の聖書の会 10時
○聖書の夕べ 19時
今期は終了しました。

ミニコンサート

2月1日(木) 12時30分開演
バイオリン演奏 中川あんな



次週礼拝

●クリスマス礼拝 (午前10時)
讃美歌 106番 112番
説教「アブラハムの子、ダビデの子」
聖書 マタイ1章1節〜17節
説教者 古村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 主を待ち望む

97番

説教 「つまずかない人は幸い」

聖書 マタイ11章2節～15節 (新約P19)

司式者 森 洋之 兄・聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允浚 副牧師

前奏曲「主キリスト、神のひとり子」J.S.バッハ

○「主を待ち望む」讃美歌21 242番 (3面参照)

1.主をまちのぞむアドベント

さいしょのろうそくともそう

主が道をそなえられた この時を守ろう

主のたまよ よろこべ 主はちかい

2.主をまちのぞむアドベント

だい2のろうそくともそう

主がなされていたそのように

たがいにたすげよう

主のたまよ よろこべ 主はちかい

3.主をまちのぞむアドベント

だい3のろうそくともそう

主のめぐみ てりかがやき くらやみをてらす

主のたまよ よろこべ 主はちかい

4.主をまちのぞむアドベント

さいごのろうそくともそう

主はこのよに きたりたもう 心こめうたおう

主のたまよ よろこべ 主はちかい

○教会学校生徒による讃美

「ひいらぎかざろうーおうまれのイエス様が」

○ヴィオラによる讃美

「間奏曲」P.マスカニ

○讃美歌97番

1.朝日は昇りて 世を照らせり

暗きにすむ人 きたりあおげ

知恵に富みたる主 世にいでたり

愚かなる人は きたりまなべ

2.力にみつる主 世にのぞめり

かよわき人々 きたりたのめ

安きを賜う主 世にくだれり

苦しめる人は 来たり受けよ

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 97番 344番

詩篇 第50編 (旧約P883)

説教 「神から遣わされた者」

聖書 IIコリント12章11節～18節 (新約P340)

司式者 森 洋之 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「いずこの家にも」J.S.バッハ

○讃美歌 97番

○ヴィオラによる讃美

「間奏曲」P.マスカニ

○聖歌隊による讃美

「とうとし降誕」T.ゲイット

たえにとうとし うまれましぬ み子イエス

かいばおけに かいばおけに 眠れる みどりご

世のあがない主 世のあがない主

幸なるかな み子イエスを おがむは

神のみ子 イエスを

アレルヤ

○讃美歌 344番

聖餐曲「バストラーレ」G.F.ハンデル

後奏曲「アレグロヴィヴァーチェ」A.バドワツ

3.救いを賜う主 世に生まれぬ

高きも低きも きたりいわえ

天地 (あめつち) しらす主 世にあらわる

よるずの物みな どよみうたえ

聖餐曲「バストラーレ」A.コレリ

後奏曲「アレグロヴィヴァーチェ」A.バドワツ